宮崎県立看護大学 広報誌
MIYAZAKI PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY PUBLIC MAGAZINE

看護大から こんにちは

2023
Vol.34
(Summer)

CONTENTS

新学長メッセージ 1
新図書館長メッセージ 2
新任者紹介 3
大学祭活動報告 4
2022年度卒業生からのメッセージ 5
学食だより 6
図書館だより 6
愛唱歌 7

MIYAZAKI PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY
宮崎県立看護大学

新学長メッセージ

地元創成看護を担う大学として

学長　長鶴 美佐子

この４月に学長に就任しました長鶴です。私は日南市の出身で、約20年前に帰郷し本学の教育・研究・地域貢献に従事してまいりました。この度、学長として本学の教学の舵取りをすることとなりました。

本学はこれまで、３名の学長が、教育、研究、地域貢献という大学のミッションを果たすべく、その基礎を築き、整えることに尽力されてきました。私が担うこれからの４年間は、本学の継承・発展のため、先人が築いてきた土台を見直し、強化していくことにあります。この歩みを進めるに当たっては、公立大学としての「本学の使命」、「本学のよさ」とは何かを常に自問自答し、原点に立ち返ることが必要だと考えます。

本学のよさのひとつは、「看護とはなにか」を学生にしっかり考えさせ、自分なりの考え（看護観）をもつ学生を育て世に送り出してきたことでしょう。自らが看護を受ける側に身を置いたときに、この本学の教育がいかに大事かを心底実感し、その継承の必要性を感じてきました。これが教員としての私を突き動かす原動力となっています。

この本学のよさを大切にしながら、公立大学として宮崎の発展に資するという使命を果たすために、「地元創成看護」という言葉を掲げました。

この言葉は比較的新しい言葉で、2020年の日本学術会議の看護学分科会において「地元の創成に寄与する看護学があってもよいのではないか」として「地元創成看護学」が提言されました。これは「それぞれの地元が持つ課題を、地元に応じた方策にて、地元の人々とともに、そして地元の人々自らが取り組めるように解決していくことを大切にしたい」という思いから、政府の掲げる「地方創生」という言葉は使わずに、「地元」と、この創り成すという文字を使っています。

宮崎県立看護大学は、宮崎の看護・医療を担う人々とともに、看護という切り口から「地元みやざきの創成」を担う大学であると考えます。先の言葉は第三者に本学の使命、方向性を語る上で、これほど適した言葉はないでしょう。

我が愛する郷土の発展に尽くしてまいりますので、何卒、宮崎県立看護大学へのご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

新図書館長メッセージ

附属図書館長就任にあたって

附属図書館長　串間 敦郎

本年４月に附属図書館長として再任されました。10年前に一度就任し、今回が二度目の就任となります。

本学の附属図書館は、学生の学修や大学が行う看護学教育および学術研究活動全般を支える重要な学術情報基盤となる役割を果たしています。そのため、大学の教育・研究において不可欠な存在であり、総合的な機能を担う機関の一つです。また地域にも開かれており、新型コロナウイルス感染拡大により一時利用を制限しておりましたが、今では一般の方も自由に利用する事ができるようになりました。

4月に就任後まもなく、「対話型AI『チャットGPT』を開発したCEOが来日し、岸田首相と面会した」という報道を耳にしました。この「対話型AI」は、既に世界中で使用されており日本でも話題となっています。インターネットやデジタル技術の発展により、社会の情報化は急速に進展しています。以前は、何かを調べるためには、図書館を利用するのが一般的でした。それでも必要な情報にたどり着くには時間がかかることがありました。しかしインターネットの普及により、必要な情報は簡単に調べられるようになり、図書館もデジタル情報との連携や利用方法の変化を進めてきました。

このような現状の中で、図書館を利用する魅力は、本や専門誌を手に取って読むことにあると思います。本学の附属図書館には、国内外の書籍、雑誌、資料が多数収められています。和・洋の書籍は7万9,000冊余り所蔵されており、特に看護や医療系の書籍は充実しています。さらに、哲学、心理学、歴史、スポーツや小説など幅広い分野の書籍も所蔵されています。利用者の利便性を考慮し、「新刊」「闘病記」「統合医療」「海外コーナー」といった特設のコーナーも設けられています。本学ホームページの図書館のウェブページより「蔵書検索」システムが利用でき、読みたい本、探している本が本学図書館にあるのか、すぐに確認する事ができます。またウェブページの新着情報では、毎月配架された新着図書をお知らせしています。月に一度はチェックしていただければと思います。

本学の附属図書館は、県内の「知の拠点」としての役割を果たすべく、今後も多くの「知」となる書籍や資料を所蔵していきます。ぜひ本学図書館にお越しください。

新任者紹介

INTRODUCTION OF NEW STAFF

看護職員

専門分野（老年看護学）　准教授　緒方 昭子

7年間関西の看護大学に勤務し、昨年宮崎に戻りました。今年4月から県立看護大学老年看護学領域に勤務させていただいております。離れていたことで改めて宮崎県の生活環境、県立看護大学の学習環境の良さを実感しています。地元宮崎で仕事ができることに感謝し、微力ですが宮崎県に貢献できるよう教育や事業に取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

専門分野（小児看護学）　講師　荒武 亜紀

これまで小児看護に関する臨床経験や研究活動、学生への教育に携わってきました。

少子化により、生活の中で子どもが表出する態度や行動から、ニーズを読み取ることを経験する機会が減少しています。この自然豊かな素晴らしい環境の中で、学生とともに子どもとその家族の反応や行動の意味が何なのか、根拠ある看護行為や意味付けを行いながら、問いを探求し学び続けていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

専門分野（公衆衛生看護学）　助教　前田 慶太

私は学部4期生として本学で学び、12年間の看護師勤務の後、調理師学校学生を経て、2017年4月から鹿児島県で一番小さな人口370人の三島村で保健師をしていました。高齢者や福祉に関わる業務をしながら、診療所の看護師が休暇の際は、代替で看護師をすることもありました。地域で働く看護師や保健師の魅力について、学生に伝えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

事務局職員

事務局　総務経理担当　主事　安藤 笑実

これまでの配属先との仕組みや業務の違いに戸惑いつつ、新しいことを覚える面白さも感じています。本学は緑豊かで、赴任当初は鳥のさえずりに、原稿を書いている今はきれいな紫陽花に癒やされているところです。これから、学生の皆さんがよりよいキャンパスライフを送れるよう努めてまいります。

事務局　教務学生担当　主事　坂本　優

私は平成29年に宮崎県職員として採用され、県税や交通安全に関する業務を行ってきました。学校への異動を希望していたので、今回、事務局職員として働くことになり、嬉しく思います。

新型コロナウイルスも収束に向かっていますので、学生の皆さんが充実したキャンパスライフを送ることができるように微力ながら力になれるように頑張ります。

事務局　教務学生担当　主事　佐土原 寛

授業料や奨学金、サークル活動などの事務手続きを主に担当しています。

今までの配属先とは打って変わって学生と接する仕事となり新鮮に感じているところです。

大学生活を送る上で特にお金に関する悩みは、学生、またその親御様に重くのしかかってくる問題であると思いますので、少しでもその不安を解消するべく、奨学金活用等のサポートに尽力してまいります。

大学祭

公孫樹祭 2023年 5月20日（土）・21日（日）

雲一つない五月晴れの日、公孫樹祭を開催しました。
新型コロナウイルス感染症の発生から３年間見送ってきた公孫樹祭を久しぶりに開催し、２日間で1,100人の方々が来場されました。

看護大と地域とのつながりを感じた公孫樹祭

2023年度公孫樹祭
実行委員長　石井　浩暉

第26回公孫樹祭は両日とも晴天に恵まれ、とてもたくさんのお客様に来ていただき本当にありがとうございました！約３年ぶりの開催となり、今までの公孫樹祭とは規模が縮小してしまいましたが、今までと同じくらい盛り上がり、楽しんでもらうことができたのではないかと思います。開催に向けて、ノウハウがほとんどない状態で１年前から準備を行い、来てくれる人は少ないのではないかと不安でした。しかし当日はたくさんのお客様と笑顔を見て、大学祭に関わることができて本当に良かったと思いました。

最後になりますが、この公孫樹祭が成功に終わったのは来ていただいた皆様、盛り上げてくださいました関係者の皆様と全学生のおかげです。今回の公孫樹祭で地域の方にたくさん来ていただいたこと、協力していただいたことでつながりを深く感じることができました。本当にありがとうございました！

2022年度卒業生からのメッセージ

OB＆OG Message

保健師

地域住民の笑顔を大切にできる保健師を目指して

宮崎県高鍋保健所　保健師　宮﨑 茉央さん

高校時代に地域の方々が病気になる前に関わりたいと思い、看護大に入学しました。

看護大での４年間、共に学んだ仲間や熱心な先生方、実習時に指導してくださった方々との出会いを通じて、将来のなりたい自分を考えることができました。そして４年次の臨地実習がきっかけで、複雑化する地域課題の解決に取り組む保健所保健師に魅力を感じ、現在、県の保健師として働いています。地域住民の笑顔を引き出せるよう、看護大で学んだことを活かしながら成長していきたいです。

在学生の皆さん、学生時代の出会いを大切に、なりたい自分を実現してください。（※写真は歯科保健啓発の一環としての歯の被り物です）

助産師

笑顔のためにおこなう切れ目ない支援

県立宮崎病院　助産師　黒木 真愛さん

別科助産専攻では、専門的な講義や分娩介助実習での妊産褥婦さんやその家族との関わりを通して、生命の誕生に関わる責任や尊さ、新しい家族として家族が受け入れていくための助産師の役割を学びました。

この春から助産師となり、様々な背景をもつ方々と関わっていく中で、女性やその家族がその家族らしく生活していくために、妊娠・分娩・育児と切れ目なく継続した支援を行っていく必要があると考えています。

今後は、対象や家族の強みを考えながら、お母さんや赤ちゃんの笑顔のため何ができるかを常に考えられる助産師になりたいです。

看護師

住み慣れた地域で生活するための看護

高千穂町国民健康保険病院　興梠 愛佳さん

私は3月に宮崎県立看護大学を卒業後、4月から高千穂町国民健康保険病院に就職し、一般・地域包括ケア病棟に勤務しています。本院は西臼杵郡の中核病院であり、来年度からは日之影・五ヶ瀬の3町の病院が統合されます。高齢者の多い山間地域の医療・看護には限りがありますが、患者さんが住み慣れた地域で生活できるように多職種と連携を取り、継続した看護を行っています。日々新たな学びを得ながら、患者さんの個別性を捉え、患者さんそれぞれのニーズに応じた看護ができるよう大学での学びを生かし、頑張っていきたいと思います。

学食だより

株式会社ホーユー　調理責任者　平部 英理

皆様こんにちは。いつもご利用ありがとうございます。

令和５年５月より、新型コロナウイルス感染症が５類となり、学生食堂をご利用する学生さんの数もコロナ禍前に戻りつつあります。

今年度も、新入生オリエンテーションのお弁当の提供をさせていただきました。

学生食堂を利用してくださる学生さん、職員さんからの「おいしかったよ」の言葉を励みにスタッフ一同頑張っております。

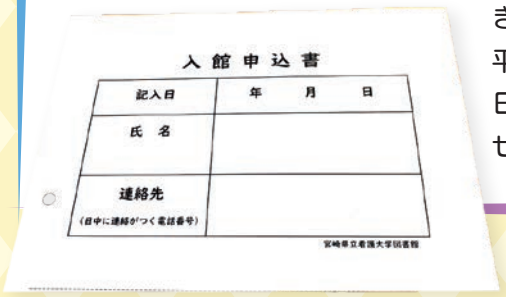
これから夏に向けて、冷たくて食べやすいメニューや夏バテ予防にパワーのつくメニューなどを検討しています。

調理スタッフ一同、学生・教職員・地域の皆様に気兼ねなくお越しいただけるよう心より願っております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

図書館だより

こんにちは、附属図書館です。

附属図書館利用の手続きについて、ご案内です。利用者カードをお持ちの方は、図書館入口に設置された入館ゲートにカードをかざして入館し、自由に図書館を利用できるようになりました。利用者カードをお持ちでない方は、学外利用者専用窓口で、入館申込書に氏名と電話番号をご記入いただくことで利用できます。なお、利用者カードを作りたい場合は、現住所の確認できる身分証明書をお持ちいただき、窓口でお申し込みください。附属図書館の利用時間は、平日は９：00～20：00、土曜日は９：30～17：00です。休館日は、本学図書館のホームページよりご確認いただけます。ぜひ、ご来館ください。



入館申込書

記入日	年　月　日
氏名	
連絡先（日中に連絡がつく電話番号）	

宮崎県立看護大学図書館

本学には、附属図書館、体育館、講堂、講義室、研究室などの多くの教育研究施設があります。

日々の保守点検やトラブルへの早急な対応により、安全・快適な環境で過ごすことができます。

愛唱歌「碧いつばさ」

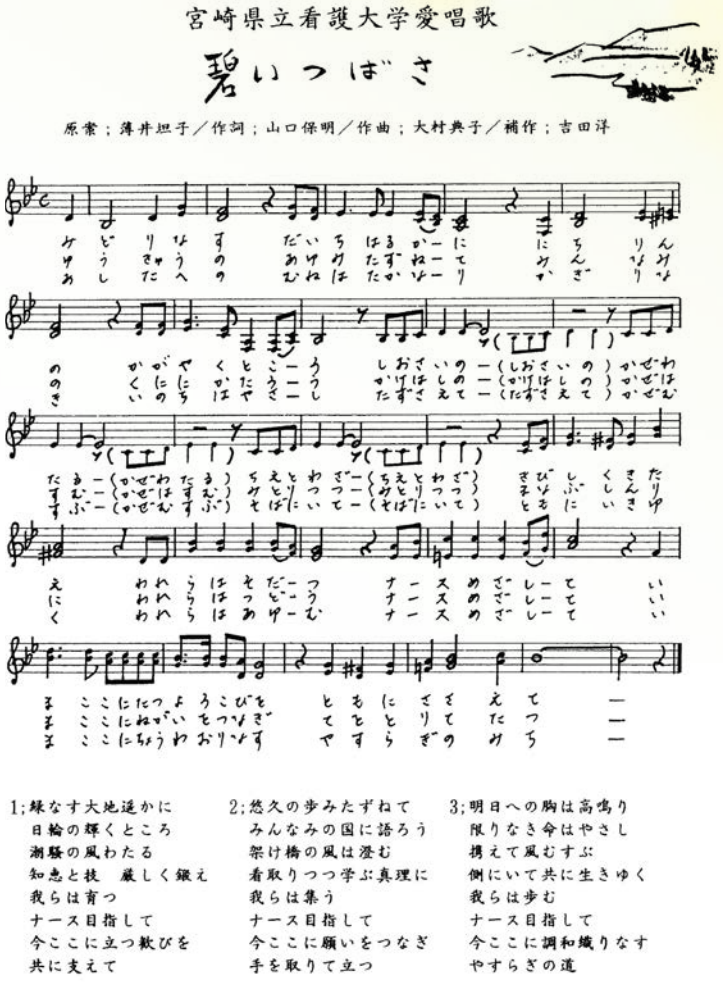
本学には「愛唱歌」があります。愛唱歌がどのようにつくられたかは「宮崎県立看護大学開学 10 周年記念誌」の故・山口保明氏（元宮崎県立看護大学学生部長）の寄稿に記されています。

…それは、平成 12 年 2 月初旬の寒い朝のことだった。大村典子さん（ともに普遍科目「文化と看護」担当）から大学の愛唱歌をもちたいとのことで、学長から学びの理念をふまえた原稿メモを渡された。これは容易なことではない。ナイチンゲールの『看護覚え書』や学長編の『ナイチンゲール言葉集』をはじめ、『倫理・愛の構造』などを読み込んだ。2 月末日、愛唱歌の歌詞は一気に成った。これを大村さんが作曲（補作吉田洋）し、学生たちに披露する日が来た。（中略）さわやかな大村さんの声と学生たちの歓喜の言葉が交錯し、薄井学長のコメントも録音のうちにある。歌詞の全容を汲んで『碧いつばさ』の表題をつけたのは、それからしばらくしてのことである。愛唱歌はこうして成ったのであるが、学生たちに歌いつがれることを願っている。

出典：山口保明（2008）：
宮崎県立看護大学開学 10 周年記念誌，17.

学生が歌う愛唱歌は
こちらから♪

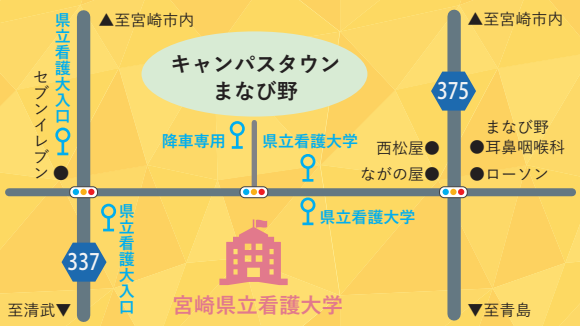
URL https://www.mpu.ac.jp/univ-guide/information/#song



MIYAZAKI PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY
宮崎県立看護大学

宮崎県立看護大学 広報誌

看護大から こんにちは Vol.34

広報誌に関するお問い合わせ／ご意見

〒880-0929 宮崎市まなび野 3-5-1 宮崎県立看護大学
TEL：0985-59-7700 / FAX：0985-59-7771
【URL】https://www.mpu.ac.jp/ 【E-mail】info@mpu.ac.jp